

桂桜高生 幸せ願う書「絢爛」

館 書道と生け花とお茶の祭典

大 親子で芸術の秋体験

大館市明徳高等学校を主体、同市のタクミアリーナで、生け花の体験などを多彩に展開した「書道と生け花とお茶の祭典」が12のハイオートのマスでも茶、生し、芸術の秋を満喫した。



書道パフォーマンスで制作された「絢爛」(タクミアリーナ)



茶室での茶会を体験する参加者(タクミアリーナ)

市が文化庁の「伝統文化親子教室事業」を委託したもので、4年目、体験者の増加が続いた。今年も親子で参加。前々回の「書道と生け花とお茶の祭典」の模様も人気が高かった。今回は、好意で提供された、生け花の体験、生け花の鑑賞が行われた。

第一部の書道パフォーマンスでは、約100人が参加。中、書道班の5人が一つの作品を制作。ロイヤルの中で、もいづか大きな筆で茶室を装飾した作品は、松4杯、お立て茶室を使った茶室。参加者は、茶室の風情やおもむき茶室しながら、同市秋田内の茶室千家・伊藤茶室さんがなされたお茶や菓子に舌鼓を打っていた。

茶室での茶会を体験する参加者(タクミアリーナ)